



60年来の友人が和三盆「夏だより」をお手紙と一緒に贈って下さいました。大好きなビーチを思い出させる渦潮、蟹、カモメ。夏こそその味覚のトウモロコシ、スイカとぶどう。暑い日差し避けての帽子と目の前の輝くひまわり。デリケートな甘みは ♪夏が来～れば思い出す～♪ の郷愁を誘うメロディとともに私の口の中で溶けていきます。夏を楽しく、涼しく、元気に過ごしましょう。

今朝、母校・弘前学院聖愛高校の野球部が 8 年ぶり、二度目の甲子園出場を勝ち取ったとのニュースが舞い込みました。日本一を目指しているとのこと。おめでとう！涼しい部屋で、冷たい飲み物を頂きながら、テレビで観戦しましょう。応援する喜びが長く続きますように。

今年の夏も、去年と同じく、コロナ禍にあります。年金生活者であるため、経済的に守られています。足腰が弱くなったため、あまり外出せず、他者との接触は少なく、感染の予防がしやすいです。高齢者であるため、優先的にワクチン接種を受けました。年寄りのメリットを頂き、感謝しています

けれども、今年は、コロナ禍によるパンデミックにもかかわらず、オリンピックが、なんと無観客で開催されています。COVID-19 は変異株を次々に発生させ、感染は拡大するばかりで、医療関係者は悲鳴を上げています。国民の 7 割が感染拡大を恐れ、反対していたのです。組織委員会はバブル方式、プレイブック、検疫などで、安全性を謳っていますが、その保証はないのです。選手同士の交流もなく、宿舎に留め置かれています。どだい、高温多湿の猛暑の今、スポーツの時期と言えるでしょうか。水辺で、木陰で、体を休め、リフレッシュさせる時期ではないでしょうか。選手たちの凄い業には驚き、感心しますが、それ以上に、選手の皆様のご健康、安全を心よりお祈りするばかりです。



我が家の一大事もあります。この夏、団地の大規模修繕工事が始まりました。各戸月額 8400 円、全戸で年間約 5 千万円の修繕積立金により、10 年毎に施行されます。建物の周りに足場が組み立てられ、シートがかけられました。これから 10 月末まで、下地補修工事、外壁塗装工事、鉄部塗装工事、防水工事、シーリング工事、浴室シーリング工事など、次々に予定されています。そのため、5 階までの足場や、共有部分である、バルコニー、階段などで、猛暑のなか、大勢の作業員が働くこととなります。皆さんの真剣さと懸命さに頭が下がるばかりです。



ただ、バルコニーで育てていた鉢植えを全て外に出さなければなりませんでした。思い出の詰まった花々です。自分で処理できないほどの物量を持っていることはおかしいな、と自覚しました。断捨離が頭からはなれません。この運搬には息子、孫たちの協力が不可欠でした。息子はまた、手伝うから、お嫁ちゃんを外で眺めてから、秋に決断して、と優しいことを言ってくれています。30 個近い鉢植えは団地の小公園の片隅で、一塊になって、居心地よさそうにしています。